

令和5年度「Kii-Plus 関西広域連合意見交換会支援プロジェクト」公募要領

学生の政策形成力向上支援のために創設された「Kii-Plus 関西広域連合意見交換会支援プロジェクト」を次のとおり公募します。申請者は、公募要領に基づき、期限までに申請書類を提出してください。

また、申請する場合は本公募要領に加え、別添の「関西広域連合協議会大学生等との意見交換会募集要項」も目を通してください。

(1) 公募の趣旨

和歌山大学生による地域連携・社会貢献の取り組みや地域を元気にする活性化策を、関西広域連合の首長に政策提言することを目的に、かかる調査活動費を支援します。この支援を通じて、学生の社会実装力や政策形成力、コミュニケーション力、問題発見解決力等を養うことも目指しています。

※関西広域連合は関西の2府6県4市（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）で構成する特別地方公共団体です。

(2) 応募資格

和歌山大学に所属する学生で、2～5人程度のグループ

(3) 公募期間

令和5年6月9日（金）～令和5年7月6日（木）17:00まで [期限厳守]

(4) 申請要件

① 関西広域連合が実施する「大学生等との意見交換会」にエントリーし、期限までに政策提案レポートを関西広域連合に提出すること【必須】。

※選考された場合は、「政策提案（プレゼン発表資料）」を作成して、意見交換会に出席すること

② 取り組みや政策形成に関するテーマは、【大阪・関西万博の開催を契機とした「担う関西」「動く関西」「つながる関西」の創造】とする。詳細は、関西広域連合が指定するもの（下記）を参照にすること。

③ Kii-Plus 地域学生プロジェクトと同一の内容で同時に応募はできません。

④ 調査研究活動を支援する顧問やアドバイザーなどの指導教員がいること。指導教員が見つからない場合は、紀伊半島価値共創基幹価値共創オフィス（region@ml.wakayama-u.ac.jp）へご相談ください。

【大阪・関西万博の開催を契機とした「担う関西」「動く関西」「つながる関西」の創造】

我が国においては、少子化による人口減少と急速な高齢化の進展により生産年齢人口の減少や経済の停滞といった影響が懸念されています。また、新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、人・モノの移動が減少し、働き方や生活様式が急激に変化しました。

一方で、東京一極集中は是正されておらず、若者を中心とした首都圏への人口流出には歯止めがかかっていません。また、経済のグローバル化から国内回帰に転換する動きも見られましたが、ポストコロナ社会や国際情勢を見据えると、各国間の相互依存が進み、国際的な地域間競争は激しさを増すことも想定されます。

こうした厳しい状況の下、ポストコロナ社会を見据えた新しいライフスタイルやデジタル化への対応等、世界の潮流に乗りながら、新しい経済の原動力となるよう、従来の産業に加え、歴史・文化・自然などの関西の持つ高いポテンシャルを活かした新しいビジネスモデルや産業の創出など、社会情勢の変化に柔軟かつ大胆に対応していく必要があります。

そこで、2025年に開催される「大阪・関西万博」を契機とし、関西全体の持続的な発展につながるとともに、関西広域連合や

構成団体の施策に活かすことができる具体的な提案を募集します。

なお、提案は、自治体の施策に直接反映することが可能な程度の水準であることが望まれます。

また、提案内容について、参考として「関西広域連合第5期広域計画」から以下のとおり提案 観点を示しますが、これらに限らず自由な発想により提案してください。

【参考観点】

- ・新しい時代の文化・観光首都“関西”
- ・生涯スポーツ先進地域・スポーツの聖地・スポーツツーリズム先進地域“関西”
- ・世界に開かれた経済拠点関西
- ・地球環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西
- ・人・モノ・情報が集積し、融合・発信する世界のネットワーク拠点関西

(5) 申請にかかる全体スケジュール

スケジュール	大学関係	関西広域連合関係
申請書の提出期限	令和5年7月6日(木)	
関西広域連合へのエントリー締切		令和5年7月7日(金)
申請書の審査	7月上旬予定	
採択・不採択決定	7月中旬予定	
政策提案レポート提出〆切		9月8日(金)
発表チームを関西広域連合で選考		9月下旬ごろ
学内中間発表会	10月下旬ごろ	
政策提案発表資料提出〆切(選考時)		11月17日(金)
意見交換会(京都市内で開催予定)		11月25日(土)

(6) 活動実施期間

採択した日から令和6年3月31日まで。

ただし、予算執行は予算配分した日から令和6年2月29日まで。

※関西広域連合へ提案した「政策提案レポート」が選考に漏れても、年度内まで活動は可能です。

(7) 予算配分額及び採択件数

予算配分額は、1件あたり最大200千円。採択件数は1~2件程度です。

※予算配分は、事業経費の必要性や予算額を考慮し増減します。

(8) 審査の方法

紀伊半島価値共創基幹事業運営委員会の構成員(以下審査会)により評価および審査を行います。

◆ 審査基準

申請書に基づき、審査員が以下の観点から評価と審査を行います。

- ① 政策のテーマ性
- ② 政策の論理性
- ③ 政策に対する課題分析

- ④ 政策の実現可能性
- ⑤ 政策の独自性
- ⑥ 調査活動等の妥当性

◆ 審査結果の取扱

- ① この評価結果を元に、審査会で活動の採否および予算を決定します。
- ② 申請者には、審査会の意見を付して採否の結果をメールでお知らせします。ただし、採否の結果について、不服申し立ては受け付けません。
- ③ 採択された活動については、実施計画を含め、テーマ・内容について本学ウェブ上で公開します。

(9) 成果報告

- ① 令和6年5月（予定）に成果を原則、公表します。
- ② 事業終了後、実施報告書（様式 2-1）及び収支報告書（様式 2-2）を令和6年4月末日までに提出してください。
- ③ 審査会は取り組みについて評価を行い、不正等が認められた場合は、予算配分額を返還していただくこともあります。

(10) 事業の中断・中止

原則として、採択された活動を中断・中止することはできません。

やむを得ない理由により活動を中断・中止する場合は、すみやかに理由書（様式任意）を作成し、紀伊半島価値共創基幹へ提出してください。

その場合、すでに執行済みの予算を含め、予算配分額を返還していただく場合があります。

(11) 問い合わせ・相談

紀伊半島価値共創基幹 価値共創オフィス region@ml.wakayama-u.ac.jp

(12) 申請書類及び申請方法

活動の申請者は、以下の書類を作成し、指導教員の承諾を得た上で、提出期限までに電子メールで提出してください。

① 申請書類

- ・ 令和5年度「Kii-Plus 関西広域連合意見交換会支援プロジェクト」申請調書（様式 1-1）
- ・ 実施計画表（様式 1-2）

② 提出先

- ・ 組織名（担当） 紀伊半島価値共創基幹 価値共創オフィス（西川・後藤）
- ・ 連絡先 内線：7127
- ・ メールアドレス region@ml.wakayama-u.ac.jp